



九州MaaS

～共創による地域交通づくりと観光活性化の取り組み～

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

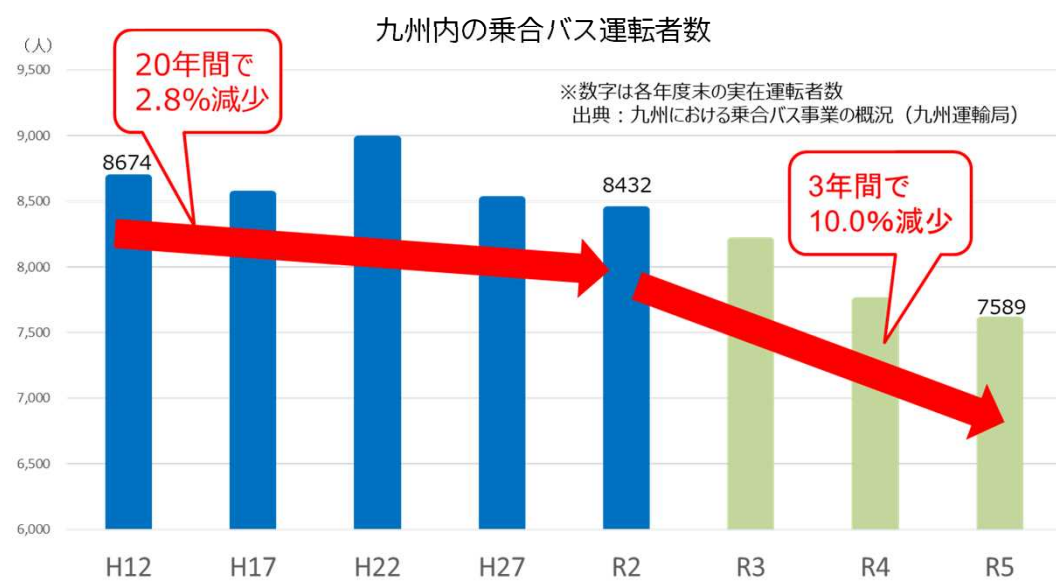
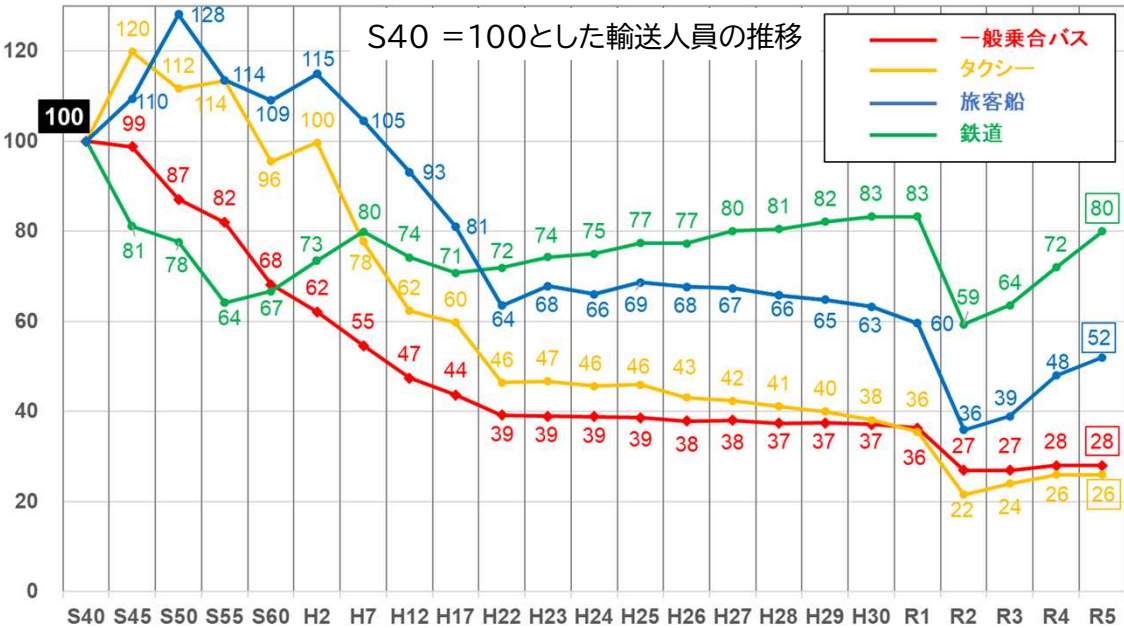
2025年2月

九州がまるっとつながる
九州MaaS
一般社団法人九州MaaS協議会



九州の交通の課題

● 続く利用減+コロナ禍+担い手不足 = **公共交通は危機的状況**

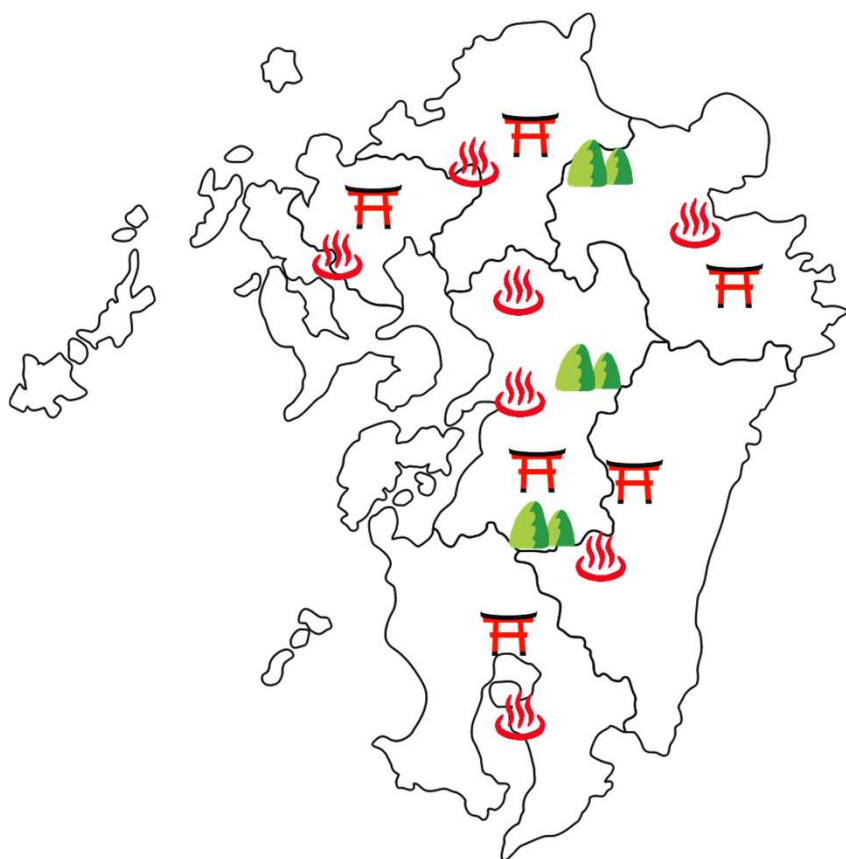


出典:九州運輸局資料より

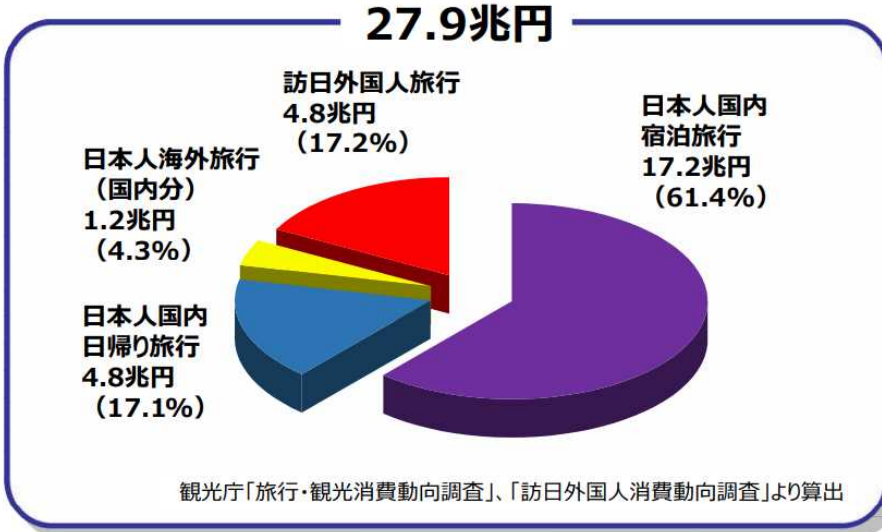


九州の観光の課題

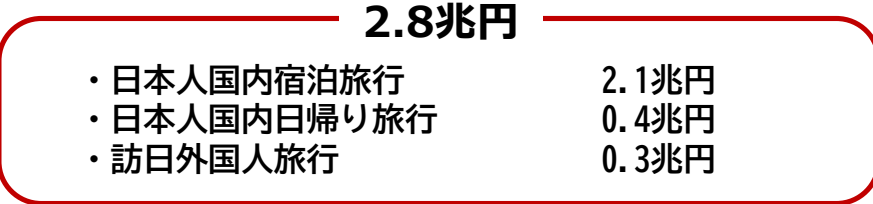
- 観光資源が広域分散しているため、中山間部をはじめ、観光地への2次アクセスの整備が必要。
- 旅行消費額において、九州はインバウンド消費額比率が相対的に低いいため、長期滞在・回遊促進に資する九州広域で一体となった取り組みが必要。



2019年 観光消費額(全国)



2019年 観光消費額(九州)



<全国>
海外インバウンド
17.2%

↑
インバウンドの消費に大きな差
↓

<九州>
海外インバウンド
10.7%

■ デジタルによるモビリティの変革 ～MaaS～

- 既存公共交通の連携に、デジタル活用による新しい移動サービスを合わせて、ひとつのサービスと捉える。
- **モビリティサービス構築+地域のコンテンツとの融合**により、**移動需要の創出と地域の活性化**にも寄与。

MaaS=Mobility as **a** Service 「移動の全てをひとつのサービスに！」



「MaaS≠MaaSアプリ・オンデマンド型交通・シェアリング」
これらはモビリティの利便性を高める新たなサービス

観光など地域のコンテンツ
(=移動の目的)とも連携

■MaaSが変える地域交通の形

- 地域交通が苦難に直面する中、MaaSの概念が登場したことは**大転換・再構築＝「リ・デザイン」の契機**。
- MaaSを活用し、**持続可能な地域交通ネットワークの構築**と地域経済の活性化、**住み続けられる地域づくり**に貢献。
- 交通手段がなければ観光地への到達も難しくなる。地域交通の維持は**観光の観点からも大きな課題**。



- ・少子・高齢化によるご利用減で減便・廃止が加速
- ・支える労働力も不足
- ・**競争が成立しないマーケットで競争**
- ・コロナ禍で更に危機的状況に



- ・様々な交通サービスが**連携した地域交通ネットワーク**
- ・地域コンテンツと連携した移動需要創出
(**観光・生活サービス・行政・商業**など)

■モビリティサービス・MaaSの取組みに必要なもの

シームレスなモビリティサービス = 交通事業者がつながること

1社のサービス・狭いエリアでは成立しない

地域のコンテンツとの融合 = 業種を超えた様々なプレイヤーとの連携

交通事業者だけの取組みではない

観光や商業など地域のコンテンツとの連携が必要

リソースの確保 = 持続可能なスキームづくり

MaaSは「アプリを導入して終わり」ではない

地域の交通政策との連携も重要

開発・維持し続けるための「ヒト・モノ・カネ」も必要

**交通事業者1社の取組みでは実現不可能
交通事業者・地域が一体となった「共創」が大前提**

■ 拡がる交通事業者の「共創」 ～「輸送サービス連携」協定～

- 過去の「競争の歴史」を乗り越え、九州内各地で「交通事業者間の共創」の動きが広がる。
- 「輸送サービス連携」の手段の一つとして「MaaS」を活用。



熊本県や長崎市でバス共同経営 収支改善、地域の足維持

熊本県では、熊本市を中心に熊本市バスと長崎市バスが共同して路線バスを運行している。また、熊本市バスと長崎市バスが共同して、熊本市と長崎市を結ぶ路線バスを運行している。この共同経営により、収支改善と地域の足の維持が図られている。

重複路線を再編／特定区域に均一運賃

ドライバー 危機

動物園通りでは、廃止された熊本都市バスの路線を九州産交バスが走っている（熊本市）

【輸送サービス連携】

- 2019.5 第一交通産業・JR九州
- 2019.10 西日本鉄道・JR九州
- 2021.9 【宮崎県】宮崎交通・JR九州
- 2021.9 西日本鉄道・第一交通産業・JR九州
- 2022.3 【熊本県】九州産交バス・タクルー・JR九州
- 2024.10 【大分県】大分バス・JR九州

【路線バス共同経営】

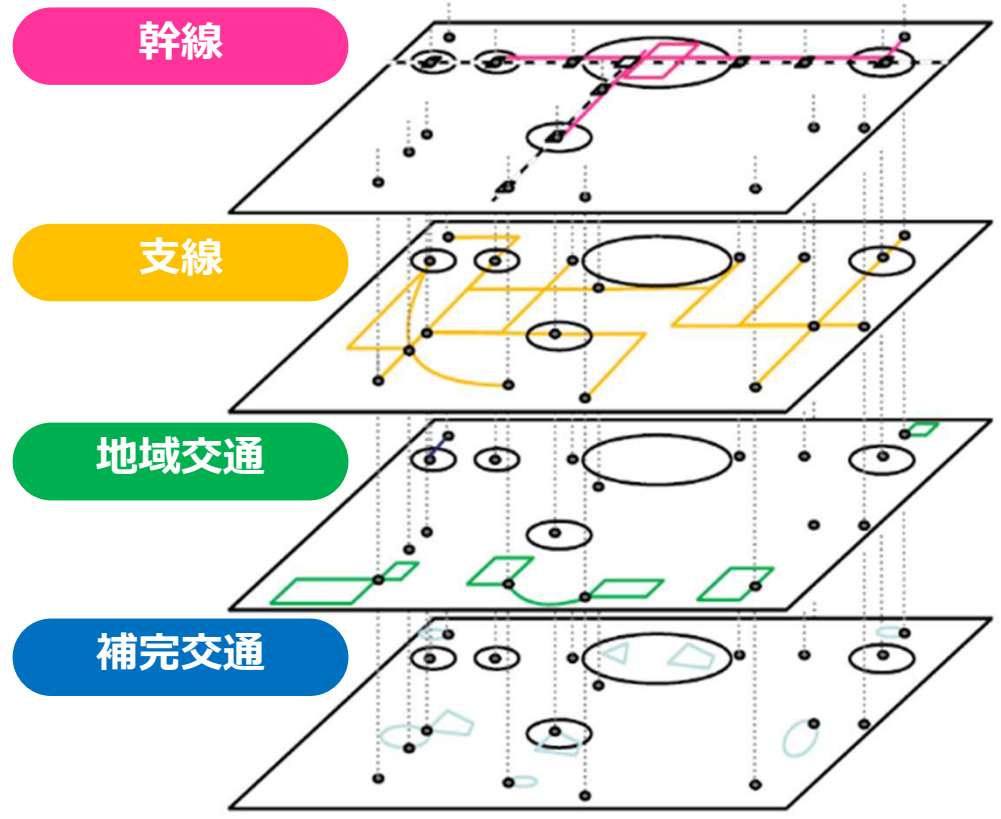
- 2021.4 熊本市 路線バス5社共同経営(全国初)
- 2022.4 長崎市 路線バス2社局共同経営



【路線バス共同経営】
 地域旅客運送サービスの持続的な維持のため、乗合バス事業者が共同して、運行事業者の一元化等による運行効率化を通じた収支改善を図るとともに、タイヤの調整により運行間隔を平準化し利便性の向上を図る取り組み。

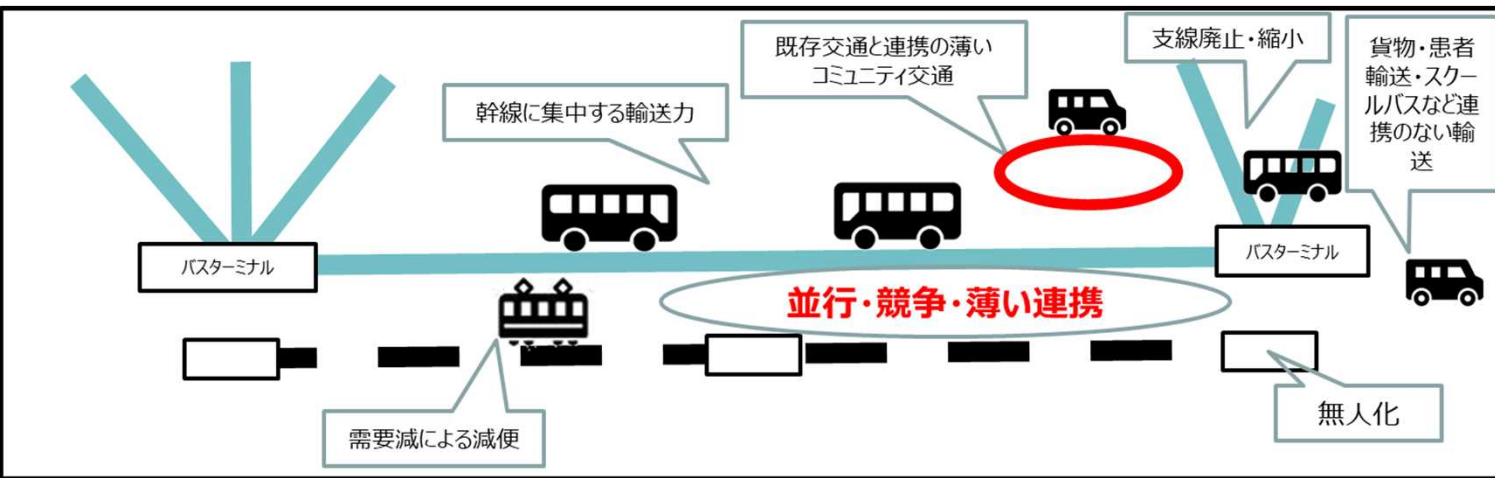
■ 今後あるべき交通ネットワークの方向性

- 交通ネットワークを階層的にとらえ、それぞれのプレイヤーが自らの得意分野で社会的役割を果たす。
- **多モード連携・階層型の交通ネットワークの構築**により、地域における**モビリティの維持・向上**を図る。

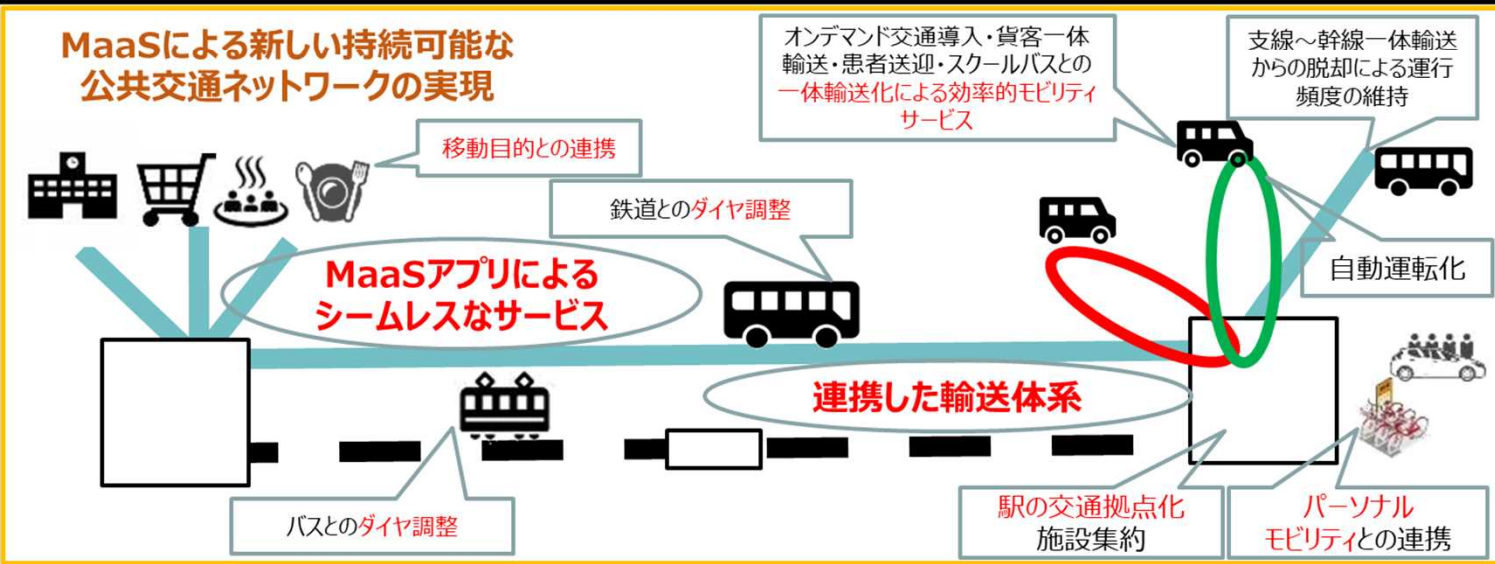


新しい地域交通もパーソナルモビリティも交通ネットワークとして捉える

■フィジカル連携とMaaSのイメージ



- ・利用減に伴うネットワーク縮減
- ・労働力の不足
- ・各モードの連携が薄い
- ・既存のネットワークから切り離された地域に閉じた代替交通サービス
- ・競争が成立しない環境下での競争



- ・各モードの特性・資産を活かした新たな交通ネットワークの構築
- ・新しいモビリティの活用
- ・MaaSアプリを活用したシームレスで利便性の高いサービス
- ・観光・商業など移動目的との連携

持続可能で利便性の高い交通ネットワークの実現

観光の利便性・回遊性の向上

● MaaSアプリ=“フィジカル連携の価値向上”と“モビリティと移動目的をつなぐ”重要なツール

■官民共創によるMaaSの推進 ～宮崎県の事例～

- 官民が一体となった実行委員会
- 民はJR九州・宮崎交通・宮崎トヨタ自動車の異業種3社が連携。

2019年12月設立。
参画企業の負担金と国土交通省・沿線自治体の補助・協賛により運営。

委員長 宮崎交通
副委員長 JR九州

<交通事業者など>
宮崎交通・宮交タクシー
西日本鉄道・ANA
トヨタ自動車・宮崎トヨタ自動車
オーシャンブルースマート

<自治体>
宮崎県 宮崎市 日南市

<観光団体>
宮崎県観光協会 宮崎市観光協会 日南市観光協会

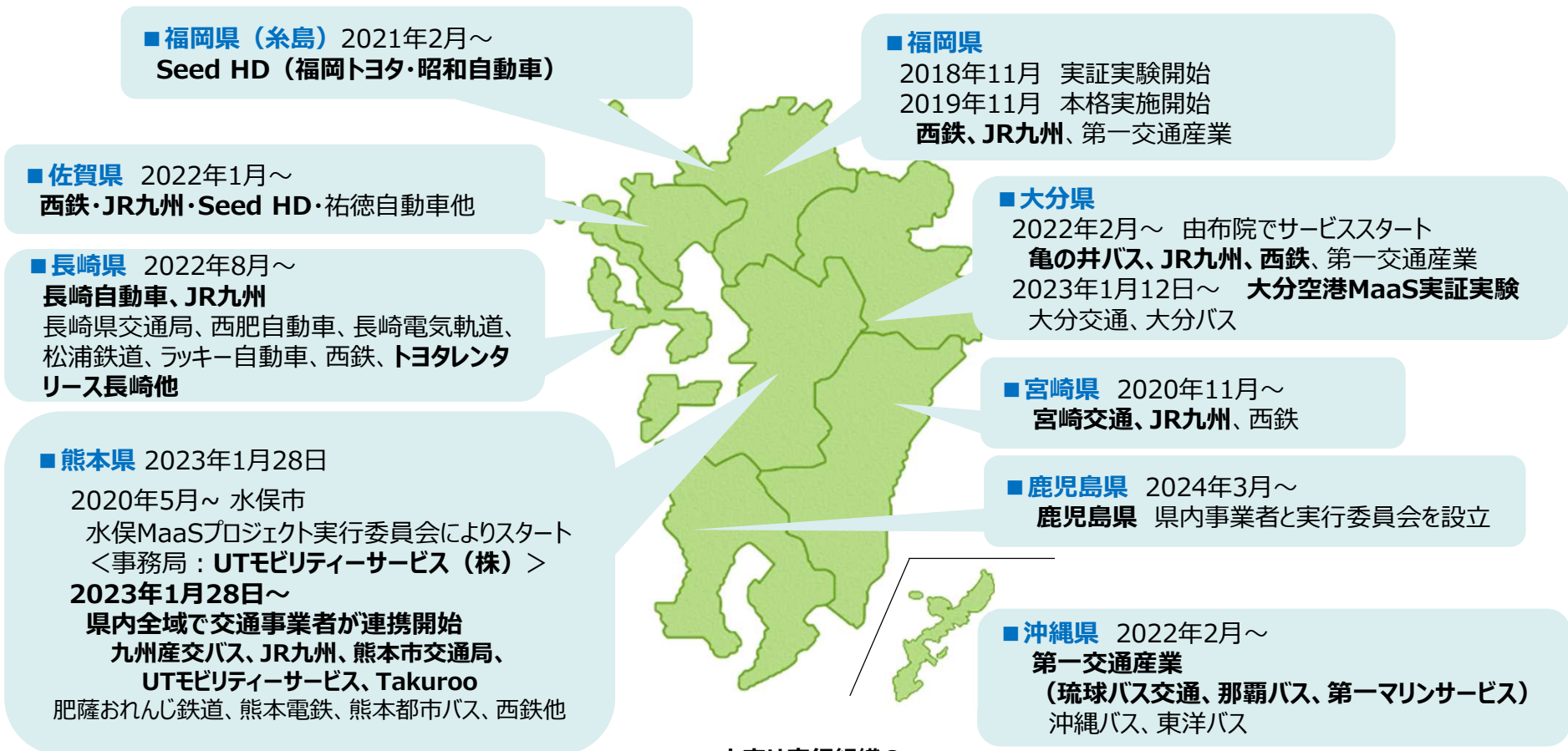
<アドバイザー>
国土交通省(九州運輸局・宮崎運輸支局・宮崎河川国道事務所)
宮崎大学 九州観光推進機構 地元フリーアナウンサー



交通事業者間・官民・他分野共創

九州各地に広がるMaaSの取り組み

- **西鉄・JR九州が各地のバス事業者等と協力**して展開。
- 「my route」を活用する **官民連携のMaaS実行組織**が、2020～24年にかけて各県に設立される。



太字は実行組織の
委員長・副委員長会社

九州各地に広がるMaaSの取り組み

● プラットフォーム側の動きも盛んで、**様々なアプリサービスや取り組みが展開**

福岡県糸島市 (R3.2~) よかまちみらいプロジェクト

佐賀県基山町 (R4.1~R4.2) きやま地方創生モビリティ研究会

福岡県福岡市 (H30.11~)

福岡県北九州市 (R1.11~)

北九州市営バス

大分県 大分空港を起点としたMaaS検討部会

大分県大分市

大分バス

大分県由布市 (R4.2~) 由布院地区における実証実験実行委員会

熊本県阿蘇エリア (R3.12~) 熊本県・熊本県観光連盟

宮崎県宮崎市・日南市・高鍋町・木城町 (R2.11~) 宮崎県におけるMaaS実行委員会

宮崎交通

鹿児島県肝付町・錦江町・南大隅町

おおすみMMO (R2.4~R4.10)

福岡県糸島市 (R3.2~) よかまちみらいプロジェクト

佐賀県 (R4.1~) さがMaaS事業実行委員会

松浦鉄道

長崎県長崎市 (R4.3~) ゼンリン

長崎県 (R4.8~) 長崎県MaaS実行委員会

長崎電気軌道

熊本県熊本市 熊本市交通局

熊本県熊本市 熊本市MaaS準備会

熊本県 熊本県MaaS推進交通事業者連絡会

熊本県水俣市 (R2.5~) 水俣MaaSプロジェクト実行委員会

鹿児島県 鹿児島県MaaS推進交通事業者連絡会

R4.12 九州運輸局調べ

【利用可能サービス】

- 鉄道
- バス
- タクシー
- 旅客機
- レンタカー・カーシェア
- シェアサイクル

凡例

- 「my route」アプリ導入地域
- 「ジョルダンモバイルチケット」導入事業者
- その他実証実験等

「my route」

トヨタファイナンシャルサービス社のMaaSアプリ。公共交通、自動車、自転車、徒歩などの移動手段を組み合わせるルートを検索し、予約・決済も可能なサービス。平成30年11月から福岡市で実証実験を経て、令和元年11月より福岡市と北九州市で本格運用。九州外では横浜市、富山市、愛知県で導入。

「ジョルダンモバイルチケット」

ジョルダンの「乗換案内」アプリで購入し、利用できるモバイルチケット。令和元年8月より発売を開始。令和4年12月現在、163券種を発売。

上記の他、下記の実証実験を実施。

- ・大分県日田市：JTBによる観光型MaaS実証実験 (R3.3)
- ・福岡市交通局：ジョルダンモバイルチケットの実証実験 (R3.4~R3.8)
- ・福岡県直方市：伊藤忠テクノソリューションズの実証実験 (R4.5~R4.8)

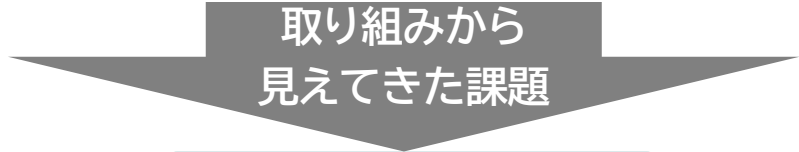
■各地での取り組みから見えてきた課題

厳しい経営環境下と一大変革期において進むべき方向性

モードをまたいだ**交通事業者間の共創**

+

交通事業者間・地域のコンテンツとの共創を推進する手段として「**MaaSを活用**」



スピードが必要

MaaSプラットフォーマーによる「陣取り合戦」の様相。

地域内で複数のプラットフォームが乱立すると**お客さまの利便性は著しく低下**。

PFが増えれば交通事業者の**リソース負担も増加**。

「ICカードの二の舞はNG！」

リソースの不足

極めて厳しい経営環境の影響。

交通事業者が、新しいことに取り組むリソース(**コスト負担能力・人材・技術・ノウハウ**)が**決定的に不足**。特に中小事業者で顕著。

一過性の取り組みに終わらない**持続可能なスキームの構築**が必要。

県単位で進めることの限界

人は、行政区域(県境)と関係なく、広域に移動する。

インバウンドなど観光客の回遊性を高める取り組みが必要。

アフターコロナの観光誘致に向けて、全国規模で**地域間競争**も始まる。

JR九州・西鉄、民間事業者のみで九州**7県と個別に協議することの限界**。

「九州各県の取り組み」から「九州が一体となった持続可能な取り組み」にすることが必要

九州が一体となった持続可能な取り組みに向けて

「九州各県の取り組み」から「九州が一体となった持続可能な取り組み」にすることが必要

2021年秋、官民が一体となった様々な取り組みを推進する九経連に相談。九経連・JR九州・西鉄で検討を開始。

第41回九州地域戦略会議(2022.6.1)で、九州広域でのMaaS構築に向けた「九州MaaSプロジェクト研究会」の立ち上げを九経連倉富会長から提案。官民が一体となり、「九州MaaSグランドデザイン」の策定に着手。

「九州MaaSプロジェクト研究会」

■座長 九州経済連合会:中川事務局長
■副座長 宮崎県 :佐野 総合政策部 総合交通課長 ※九州創生アクションプランにおけるMaaS幹事県
 九州産交バス :宮田 営業本部長 ※MaaS導入に積極的+共同経営にも取り組んでいる

■委員(31団体・48者)

	山口(下関)	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
県	交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
政令市	福岡市・北九州市・熊本市の交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
鉄道		九州旅客鉄道 西日本鉄道		長崎電気軌道		熊本電気鉄道			
バス	サンデン交通	西日本鉄道 JR九州バス	昭和自動車 祐徳自動車	長崎自動車 西肥自動車	大分交通 大分バス	九州産交バス 熊本電気鉄道	宮崎交通	いわさきコ 南国交通	(第一交通 産業)
タクシー		第一交通産業				TaKuRoo			
団体	九州経済連合会、九州観光機構								

■オブザーバー(9者)
 【行政】九州運輸局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州地方環境事務所
 【業界】九州鉄道協会、九州バス協会、九州乗用自動車協会、福岡県タクシー協会、日本旅行業協会、

■アドバイザー ㈱MaaS Tech Japan代表(JCoMaaS 理事)日高 洋祐氏

■事務局 九州経済連合会、九州観光機構、九州旅客鉄道、西日本鉄道

九州地域戦略会議

設立: 2003(H15)年10月28日

目的: 「九州はひとつ」の理念のもと、**官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進**に取り組む。年2回(春・秋)の定例会議で意思決定する。


※主に国の地方創生戦略に基づいて策定した「九州創生アクションプラン」を官民協働で推進。

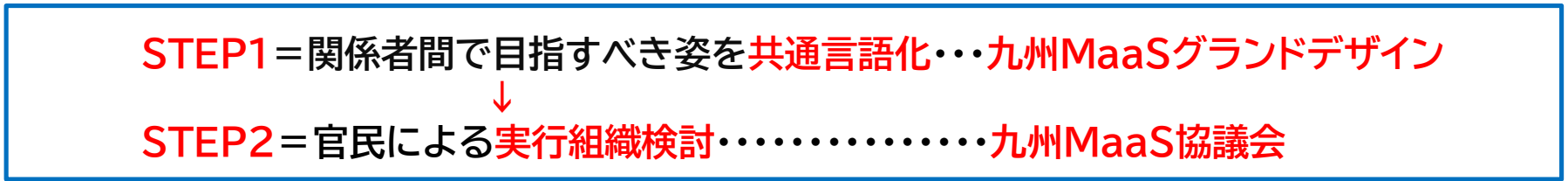
共同議長	九州地方知事会 会長 河野 俊嗣 (宮崎県知事)
共同議長	九州経済連合会 会長 倉富 純男 (西日本鉄道会長)
監事	沖縄県知事 玉城 デニー
監事	九州経済連合会 副会長 柴戸 隆成 (福岡銀行 会長)
委員	<p>【行政】</p> <p>九州地方知事会会員各県知事</p> <p>【経済界】</p> <p>九州経済連合会会長等</p> <p>九州商工会議所連合会会長等</p> <p>九州経済同友会代表委員</p> <p>九州経営者協会会長</p>
共同事務局	九州地方知事会・九州経済連合会



2024年10月22日 第46回九州地域戦略会議における各県知事と経済界委員の記念撮影

九州MaaS開始までの経緯

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
イベント チェック ポイント 等	<p>●九州MaaS構築提案(6月) #41九州地域戦略会議</p>	<p>●九州MaaS グランドデザイン承認(5月) @ #43九州地域戦略会議</p>	<p>●協議会創立総会(3/11) ●九州MaaS協議会設立(4/1) ●九州MaaS記者発表(6/4) #45九州地域戦略会議</p> <p>●サービスイン(8/1)</p>	<p>スタートアップ支援期間</p>		<p>●取組内容検証・評価</p>			<p>●GD計画終期</p>
研究会	<p>●九州MaaSプロジェクト研究会 (2022年8月~2023年5月・全7回)</p> <p>九州MaaSの目指す姿・社会実装の 基本構想 = グランドデザインの策定</p>								
準備会		<p>●九州MaaS実行組織準備会(7月~3月・全9回)</p> <p>グランドデザインに沿って具体化作業を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスPFにトヨタフィナンシャルサービス㈱“my route”を選定 ・運営費用負担の按分協議「官:民=1:1 国庫補助は民に充当」で合意 ・協議会立ち上げ準備 ・サービスコンテンツ、データ利活用、プロモーションの各WG活動 							
					<p>[KPI]参画事業者 60以上</p>			<p>[KPI]参画事業者 100以上</p>	



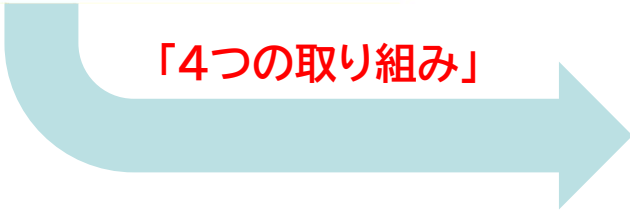
九州MaaSの背景と狙い ~九州MaaSグランドデザイン~



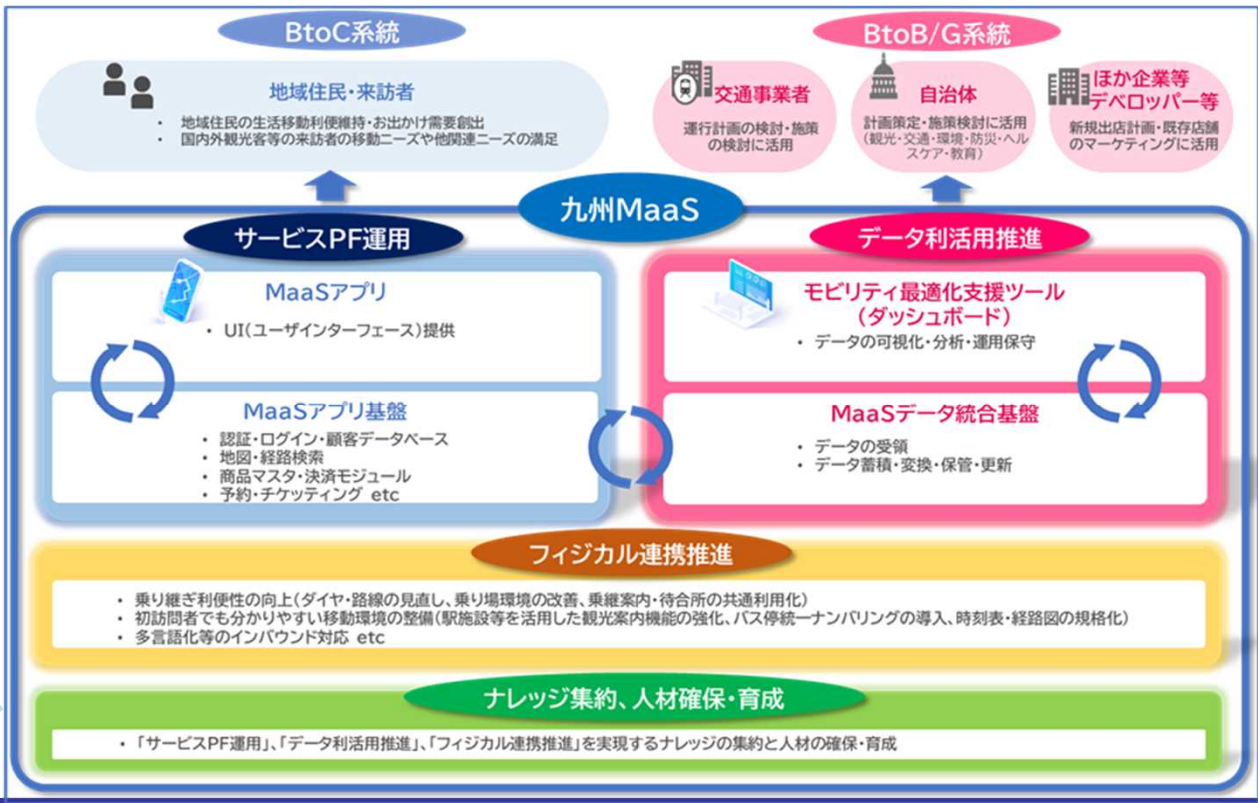
これまでと同じ形で地域の公共交通サービスを維持・提供し続けることは難しい
観光地へのアクセス確保、広域周遊に資するサービス、インバウンド対応など観光振興の観点でも重要

九州広域での官民・交通事業者間の共創・連携による「九州MaaS」

- ### 「4つの基礎理念」
- 基礎理念①**
 ボードレス交通の実現
 - 基礎理念②**
 フィジカルなくしてデジタルなし
 - 基礎理念③**
 共創による移動需要創出への挑戦
 - 基礎理念④**
 モビリティデータ利活用の推進



「4つの取り組み」



九州MaaSの背景と狙い ～九州MaaSグランドデザイン～

九州MaaSの運営等

【運営体制】(抜粋)

○「協議会」を主体とした運営

九州で一体となったMaaS施策の戦略的な立案・実行に必要な**実効性を担保するため**に、一つの主体=「協議会」により運営。

○「協議会」の主なミッション

- ① **サービスプラットフォームの調達・運用・プロモーション**
- ② **官民・事業者間連携**による九州共通施策の実施
- ③ データ利活用プラットフォームのPoC・調達・運用
- ④ **フィジカル連携等の推進**
- ⑤ **ナレッジ集約、人材の確保・育成**

【費用負担】

○官民共同負担

①九州MaaSの必要性、②九州MaaSの「社会インフラ」としての公共性、③「共創」の取組により地域交通をリ・デザインすべきという政策的要請、④公共交通ネットワークが維持されることによる地域社会・経済への裨益、⑤自治体におけるデータ利活用の可能性等を考慮し、**官民の共同の負担で継続的に賄う**。

→「**官民負担割合は1:1**」

「九州MaaS協議会」は

「**厳しい経営環境下にある九州の交通事業者がモードを超えて一つになり**」

「九州の**官民プロジェクト**として位置づけ」

「**官民共同負担で持続可能な取り組み**」に



サービスプラットフォーム=**my routeの調達・運用・プロモーションも官民共同負担**で実施

九州MaaS協議会の目指す姿

Point1 統一サービスプラットフォーム・フィジカル連携・ナレッジの集約と展開・データ利活用

Point2 共創による持続可能性の向上と事業者の規模に関わらず参画しやすいスキームづくり

■モビリティサービス・地域のコンテンツをつなぐ、おでかけアプリ「my route」



- トヨタファイナンスサービス(株)が開発・提供するスマホアプリ。
- 交通事業者は**資産を保有せず、利用料をトヨタファイナンスサービスに支払う**形で活用。
- その後、九州各県で展開。プロポーザルにより九州MaaSのサービスPFにも採用決定。
- 全国のユーザ企業による開発も進み、**運用・開発ともにコスト抑制**につながる。



おでかけ情報



myステーション

毎日利用する**交通の情報**を一目で確認！

myチケット

すぐに使いたい**チケット**・**クーポン**に簡単アクセス！

おでかけメモ

今度行きたい！面白そう！美味しそう！をURL・画像など多様な方法で保存。

おでかけ情報

思わずおでかけしたくなる周辺の**グルメ**や**イベント**の**情報**を紹介

地図で探す



ルート検索

シングルモーダルおよび、**マルチモーダル**に対応。

交通スポット検索

見知らぬ土地でも安心！近くの**交通スポット**を探して**情報**(時刻表・バスロケ・予約導線)を確認。

施設検索

思い付いたとき、すぐに周辺の**グルメ**や**体験施設**を検索。

お得におでかけ



おでかけサービス 予約/利用

おでかけ先の**交通**や**施設****チケット**を予約・購入可能。



アライアンス + 資産を保有しないSaaSスキームで、負担軽減と持続可能性の向上を図る

■サービスプラットフォーム ～MaaSアプリの目指すところ～

●英彦山神宮:福岡県田川郡添田町と大分県中津市の県境で、三峰からなる標高約1,200mの霊峰・英彦山。古来より神聖な山として信仰を集めています。山伏の修験道の霊場としても有名で、日本三大修験の山(羽黒山、大峰山、英彦山)の一つです。中心部には国指定重要文化財の英彦山神宮奉幣殿(ひこさんじんぐうほうへいでん)があり、特に秋は紅葉の名所として多くの登山ファンが訪れます。(福岡県観光WEBクロスロード福岡より)



乗り物はもっと、
やさしくなれる。

みんなの家の近所まで。
なつかしい故郷まで。
雄大な自然の目の前まで。
会いたい、誰かの近くまで。
ひこぼしラインは、走ります。



日田彦山線BRT

ひこぼしライン



2023.8.28 開業!

🚗 お車でお越しの場合

福岡市方面	国道201号線 八木山峠経由 約1時間30分	英彦山神宮
北九州市方面	国道322号線 田川市経由 約1時間	
日田市方面	国道211号線 東峰村(小石原)経由 約1時間	

最寄りのIC 九州自動車道【小倉南インター・八幡インター】から約1時間
大分自動車道【杷木インター・日田インター】から約1時間

【カーナビゲーションシステムをご利用の方へ】
カーナビを利用してお越しの方は、目的地を「英彦山スロープカー」もしくは「福岡県田川郡添田町大字英彦山1487番地」と入力ください。

※駐車場は別所駐車場（無料）をご利用ください。

🚆 電車・バスでお越しの場合

平成29年7月の九州北部豪雨の影響により、日田彦山線の“添田～日田”間は現在運休中です。
小倉方面から電車でお越しの際は、添田駅からバスに乗り換えてください。



雨の影響により、日田彦山線の“添田～日田”間は現在運休中です。
小倉方面から電車でお越しの際は、添田駅からバスに乗り換えてください。

↑JR日田彦山線は「運休中」
添田駅から「添田町バス」

ルート1 08:03発→11:15着 3時間12分 (乗車1時間40分) 乗換: 3回
IC優先: 1,440円 69.9km

🚗🚆 +ルート保存 📅 定期券 🗺️ ルート共有 🖨️ 印刷する

08:03 発 博多 時刻表 | 出口 | 地図

- 14駅 JR北ゆたか線 当駅始発 直方行 [発] 8番線 → [着] 情報なし
- 08:49着 08:53発 **新飯塚** 時刻表 | 地図
- 5駅 JR後藤寺線 当駅始発 田川後藤寺行
- 09:16着 09:20発 **田川後藤寺** 時刻表 | 地図
- 4駅 JR日田彦山線 当駅始発 添田行
- 09:35着 09:57発 **添田** 時刻表 | 地図
- 11駅 JR BRTひこぼし5号 当駅始発 日田行
- 10:13着 10:15発 **彦山** 時刻表 | 地図
- 徒歩60分 地図でルートを表示
- 11:15 **着 英彦山神宮** 地図

1,440円

↑BRT彦山駅から「徒歩60分」

添田町バスのご案内

DP > 添田町バスのご案内

- 添田町バス
- 添田町バスのご案内
- 添田町へのアクセス

※2月12日(水曜日)から2月16日(日曜日)までの期間、積雪及び路面凍結の影響により、「ひこさんホテル入口」バス停で折り返し運行となります

ひこさんコース

2月12日(水曜日)から2月16日(日曜日)までの期間、積雪及び路面凍結の影響により「ひこさんホテル入口」バス停折り返し運行となります。

まちなかコース

通常運行

※令和7年2月1日(土)から、運行時刻が変わりました
改正後の時刻表は、以下のとおりです。

【ひこさんコース】

- 添田町バス ひこさんコース時刻表(平日)(令和7年2月1日～)
- 添田町バス ひこさんコース時刻表(土日・祝日)(令和7年2月1日～)



↑添田駅からは「添田町バス」は出ていない
現金のみ対応

添田町バス ひこさんコース【土日祝】

(令和7年2月1日～)

◆豊前坊 方面行き

【JR、BRTの特急表】

添田駅	BRT添田駅(発)	8:15	9:35	11:05	13:48
彦山駅	BRT彦山駅(着)	9:24	10:44	12:14	15:02
添田駅	JR添田駅(着)	8:48	9:35	12:42	14:28
彦山駅	BRT彦田駅(発)	8:55	9:57	12:47	14:43
彦山駅	BRT彦山駅(着)	9:11	10:13	13:03	15:02

彦山駅	9:30	10:50	13:15	15:10
彦山駅口	9:31	10:51	13:16	15:11
中河原	9:33	10:53	13:18	15:13
仙道	9:34	10:54	13:19	15:14
鍛冶屋	9:35	10:55	13:20	15:15
南坂本	9:37	10:57	13:22	15:17
湯の山	9:39	10:59	13:24	15:19
銅の島屋	9:42	11:02	13:27	15:22
下の谷	9:44	11:04	13:29	15:24
彦山スロープカー	9:46	11:06	13:31	15:26
別所駐車場	9:50	11:10	13:35	15:30
神宮下	9:52	11:12	13:37	15:32
ひこさんホテル入口	9:54	11:14	13:39	15:34
野営場	9:56	11:16	13:41	15:36
青年の家入口	9:59	11:19	13:44	15:39
豊前坊	10:01	11:21	13:46	15:41

◆彦山駅 方面行き

豊前坊	10:05	11:35	14:20	15:45
青年の家入口	10:07	11:37	14:22	15:47
野営場	10:09	11:39	14:24	15:49
ひこさんホテル入口	10:12	11:42	14:27	15:52
神宮下	10:14	11:44	14:29	15:54
別所駐車場	10:15	11:45	14:30	15:55
下の谷	10:18	11:48	14:33	15:58
彦山スロープカー	10:20	11:50	14:35	16:00
銅の島屋	10:23	11:53	14:38	16:03
湯の山	10:27	11:57	14:42	16:07
南坂本	10:29	11:59	14:44	16:09
鍛冶屋	10:30	12:00	14:45	16:10
仙道	10:31	12:01	14:46	16:11
中河原	10:32	12:02	14:47	16:12
彦山駅口	10:34	12:04	14:49	16:14
彦山駅	10:35	12:05	14:50	16:15

【JR、BRTの特急表】

彦山駅	BRT彦山駅(発)	10:44	12:14	15:02	16:24
彦山駅	BRT彦田駅(着)	11:07	12:37	15:25	16:47
彦山駅	JR彦田駅(発)	11:22	12:52	15:40	17:12
彦山駅	BRT彦山駅(発)	11:43	13:03	15:02	17:00
彦山駅	BRT彦田駅(着)	13:03	14:23	16:19	18:17

運賃 (臨時運行)	運賃	
	10km未満	10km以上
子ども	100円 (30円)	150円 (40円)
大人	200円 (50円)	300円 (80円)
子ども	※保護者同伴の満4歳未満は無料です。	
大人	※車内では両替できません。	
※保護者同伴 ※車内では お支払い可 ※()は	お支払いは現金または回数券をお願いします。	
	※()は減免対象者の運賃です。	

1987年3月(国鉄最後の月)
全国版時刻表



旅上手になる近道は、これだ
周遊券

自分の旅行行程にあわせてきっぷを発行するオーダーメイドの周遊券、あらかじめセットされたきっぷに自分の旅行行程をあわせるレディーメイドの周遊券。

オーダーメイドの周遊券

◀一般周遊券▶

- 列車、連絡船、国鉄ハイウェイバスを営業キロで合計201キロ以上ご利用になり、周遊指定地を2カ所以上(沖縄など全国で14の特定指定地の場合は1カ所)回って出発地にお戻りになる場合に発売いたします(631ページの例をご覧ください)。
- 運賃は列車、連絡船が2割引(学割は3割引)、自動車線は1割引(学割は2割引)、会社線は1割引、有効期間は1カ月です。
- 周遊指定地は索引地図にうす緑色で表示してあります(特定指定地はうす赤色)。ただし、この中には1カ所に数えない準指定地も含まれています。詳しいことは周遊券のうりばでおたずねください。

◀グリーン周遊券▶

- ご夫婦でご利用いただく周遊券です。
- ご夫婦が、一般周遊券の発売条件のほか、グリーン車、A寝台車、グリーン船室を営業キロで合計201キロ以上ご利用になる場合に発売いたします(631ページの例をご覧ください)。
- 運賃は列車、連絡船が2割引、そのほかの乗り物はほぼ1割引、有効期間は1カ月です。特急・急行・グリーン・指定席料金は2割引となります。
- 新婚旅行のおふたりがグリーン周遊券をお求めの場合は、お見送りの方たちのために、入場券10枚がセットされます。

九州地方 709

西日本鉄道(株) 709

2/2 原形	太字=休日の時刻				細字=平日の時刻				[西日本鉄道(株)]															
841	1041	1306	1446	1631	840	1011	1256	1436	1651	1851	円 ●彦山駅	708	759	1009	1149	1404	1615	1759	814	1019	1219	1414	1624	1744
858	1058	1323	1503	1648	857	1028	1313	1453	1708	1848	○ 銅鳥居	651	742	952	1132	1347	1558	1742	757	1002	1202	1357	1607	1727
905	1105	1336	1510	1701	904	1035	1326	1500	1721	1901	○ 神宮下	645	735	945	1125	1340	1551	1735	750	955	1155	1350	1600	1720
926	1126	—	1531	—	920	1056	—	1521	—	—	○ 豊前坊	—	—	930	1110	—	1536	—	—	940	1140	—	1545	—

TEL 0942-33-2231 [西日本鉄道(株)]

国鉄時代は、全国版時刻表に彦山駅から英彦山神宮への路線バスの路線図・時刻も掲載
全国の「みどりの窓口」できっぷ(=周遊券)の購入も可能だった

時代の流れで輸送サービスの形が変わるのは避けられない
一方で**情報・決済も切れてしまっている**

10:32 発 現在地

136m 歩く

10:35 着 入口 1番口
10:37 発 渡辺通

⚠ 運行状況

福岡市営七隈線

普通 博多行

1番線
列車遅延 02/14 08:30
3駅
福岡市営七隈線[博多～橋本(福岡県)]
08:13頃、賀茂駅で発生した車両故障の影響で、列車に遅れが出ています。

⚠ 運行状況

J R 篠栗線 (福北ゆたか線)

快速 直方行

8番線

12駅

*運賃・料金は公式サイト等でご確認ください

11:37 着 新飯塚
11:46 発

J R 後藤寺線

普通 田川後藤寺行

11:46 発

J R 後藤寺線
普通 田川後藤寺行

5駅

*運賃・料金は公式サイト等でご確認ください

12:07 着 田川後藤寺
12:28 発

J R 日田彦山線
普通 添田行

4駅

*運賃・料金は公式サイト等でご確認ください

12:42 着 添田
12:47 発

J R 日田彦山線
B R T 日田行

11駅

お得なチケットはこちら

13:03 着 彦山
13:03 発

409m 歩く

13:06 着 彦山駅口
13:34 発

路線バス

深倉峽経由豊前坊行

10駅

13:55 着 神宮下
13:55 発

2.0km 歩く

運行状況

09:38 発 西鉄バス 福岡県立大学
堀池・飯塚 烏尾トンネル



15:10 確認

75%

BRTひこぼしライン開業記念 1 DAY満喫フ...

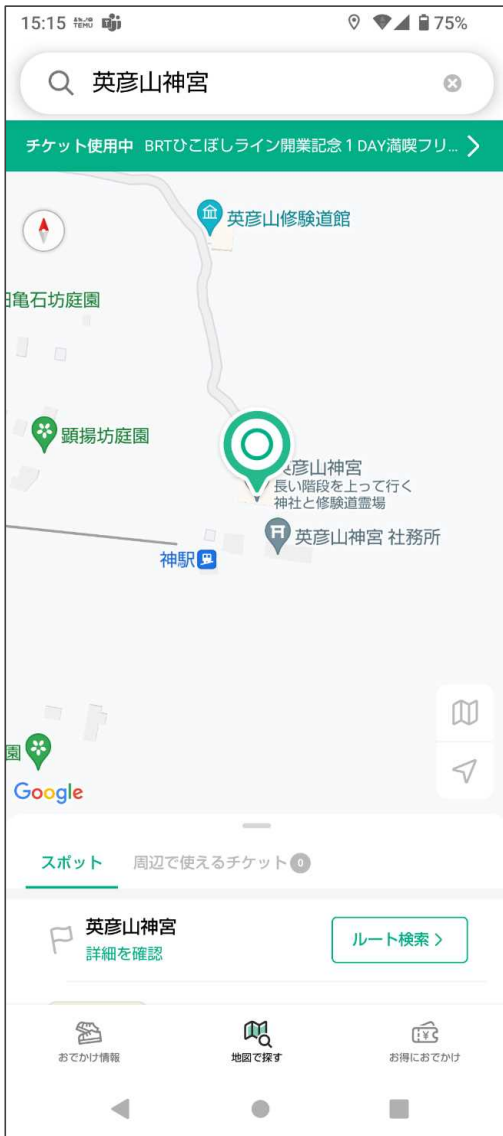
セット料金

BRTひこぼしライン開業記念 1 DAY満喫
フリーチケット

本日購入分 2025/02/26 まで有効

JR九州バス株式会社

大人 **860円** 小児 **430円**



スロープカーは「交通機関」ではない
 …今後の情報提供の課題のひとつ

奉幣殿まではスロープカーも繋がっており、お年寄りや
 小さなお子さん連れでも参拝することが可能。

九州統一サービスプラットフォームで
**観光情報提供・交通機関の決済・運行情報までを
 ボードレスに提供**

交通事業者間の共創(西鉄・JR九州:日田彦山線・BRT添田駅 2023.8~)

- 添田駅では、列車とBRTを同一平面・対面での乗り換えが可能。
- 一部便の運行を西鉄グループ(日田バス)に委託し効率的な運行を実現。
- BRT乗り場には、起点の添田駅周辺エリアを走る西鉄路線バスも乗り入れ。交通結節機能が更に向上。



仁義なき乗客争奪戦を展開したJR九州と西鉄がタッグ 接続連携
や共同ツアーに利用者歓迎

2025/2/10 12:00
X ポスト X 反応 f 共有 記事を保存
一居 真由子 経済 | 産業・ビジネス 鉄道



JR添田駅ではホームの片側が道路となっており、西鉄バスが乗り入れる=福岡県添田町 (一居真由子撮影)



フィジカルな連携

2025/2/10 産経新聞Web版

交通事業者・官民の共創(西鉄・JR九州:日田彦山線・BRT 2023.8~)

- 西鉄・JR九州の支援により、福岡県・沿線自治体が連携した日田彦山線BRT区間の1日フリーチケットを発売。
- 沿線施設の利用特典もセット。観光によるBRTの利用促進を目指す。
- 沿線の東峰村では、“のるーと”を展開し地域の2次アクセスの整備も実施。

マース / 実証実験 はじまり MaaS / **開業記念**

BRTひこぼしライン 1DAY満喫フリーチケットを販売!

販売・利用開始日 **2023年8月28日(月)~** 東峰村・添田町を手に楽しく周遊!

スマホ一つで簡単! 地域限定のデジタルチケット!

1Day Free Ticket + 地域限定の特典

大人(小学生以上) **860円**
小児(小学生未満) **430円**

地域の魅力が詰まったお得な特典がいっぱい!

地域限定の特典

〈添田町〉

特典1 手打ち蕎麦じょうはん
大盛(+300円)分を無料サービス

特典2 道の駅お遊みこさん
英彦山サイダー 50円引き

特典3 晴どり食堂
ヤマメ定食を300円引き
または、釜定食を300円引き

〈東峰村〉

特典4 聖山カフェ「樹田屋」
[R] 8時~21時 / [F] 7時~21時 / [S] 7時~21時 / [Su] 7時~21時 / [Mo] 7時~21時 / [Tu] 7時~21時 / [We] 7時~21時 / [Th] 7時~21時 / [Fr] 7時~21時 / [Sa] 7時~21時

特典5 片岡酒造
1,500円以上お買い上げの方は100円引き
試飲できます!

特典6 アンジュ
ランチ注文の方はドリンク1杯サービス
飲み物のみの方は50円引き

〈その他の店舗〉

添田町

- 情熱的中華厨房 味都
- 本場韓国料理家(道の駅敷地内)
- もち工房(道の駅敷地内)
- 中華 味楽(道の駅敷地内)
- フォレストアドベンチャー-添田

東峰村

- 佐々木製菓
- 喫茶 藍加減 其の貳
- おみその学校カネダイ

東峰村 乗合タクシー リニューアル運行開始!

平素より、東峰村乗合タクシー(のるーと東峰)をご利用いただきまして、ありがとうございます。

東峰村乗合タクシーは、地域の公共交通を確保し、より良いサービスを提供するため、令和6年4月1日より有償での運行に移行します。より一層安全で快適な乗合タクシーサービスの提供に努めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

また、令和6年2月より、これまでの電話予約だけでなく、村の公式LINE及び専用アプリからも予約を受け付けております。詳細は右のページをご覧ください。

東峰村乗合タクシー(のるーと東峰)について

運行日時 8:30~17:00(12/29~1/3のみ運休)

対象 すべての方がご利用いただけます
※未就学児のみのご利用はできません

運行区域 東峰村全域(乗車、降車ともに村内に限ります)

運賃	区分	運賃
	中学生以上	300円
	小学生	150円
	保護者同伴の未就学児	無料
	村内在住の65歳以上の高齢者	150円
	障害者手帳の所持者	150円
	障害者手帳所持者の介助者	無料

アプリから予約する際は、「村内在住の65歳以上の高齢者」の割引を受ける方につきましては「大人(300円)」を選択してください。
車内でシニアカード(任意)または高齢者割引カードをご提示いただけますと割引が適用されます。なお、割引の対象となるのはご本人様のみです。
シニアカードの発行に関しては乗峰村ふるさと推進課までお問合せください。

LINE・アプリから予約

東峰村公式LINEの登録

LINEアプリを起動し、メニュー「ホーム」の「友だち追加」画面で「QRコード」を選択し、右のQRコードを読み取ります。

村の公式LINEはコチラから!

専用アプリ(のるーと)のインストール

以下のQRコードを読み取り、専用アプリ(のるーと)をインストールしてご利用ください。

iphoneの方はこちらからダウンロード
Download on the App Store

Androidの方はこちらからダウンロード
GET IT ON Google Play

電話での予約

これまで通り電話での予約も可能となっております。電話での予約の際は、受付時間内に、以下の電話番号までおかけください。

090-1038-4785

受付時間: 9時00分~17時00分 (土日祝を除く平日のみ)

※電話がつかない場合は、時間をおいておかけください。

発行元 東峰村地域公共交通活性化協議会(東峰村役場 ふるさと推進課) 0946-72-2312

フィジカルな連携 + デジタル活用

■現在の状況

1. 「競争」から「共創」へ ～フィジカルなくしてデジタルなし～

< 参画会員数の拡大 >

- 交通事業者を始め、協議会の趣旨に賛同頂いた新たな参画会員(※)が拡大中
- 会員数 4月設立時・・・74会員 → 12月**104会員**
(正会員 各県:7 事業者・団体:64 → **83** 賛助会員:1 → **12** 情報連携会員:2)

2. 統一サービスPF "my route" の活用推進

< 交通事業者での活用推進 >

- 開始前81券種 → 九州MaaS開始時約**100券種** → **11月約130券種**
- 各県参画事業者で、**県境や事業者をまたがる商品**など積極的な活用を開始
- 10月九州内 月間発売枚数 計 **47,000枚超**

今後も九州各地で積極的に活用を推進

< アプリユーザーの拡大 >

- 累計アプリダウンロード数 **115万件超(2024年末)**
- アプリダウンロード数 約**1,000件増**／日
- アクティブユーザー 約**110,000人**／月
- 対応言語 日・英・韓・繁体

3. 九州一体となったプロモーション



- 6/4 「第45回九州地域戦略会議」で各県知事とサービス開始日・サービスロゴを発表
- 7/31 九州内の参画交通事業者による共同PRを実施 (23会員、40名超が参加)
- 統一ポスターを**63社、約9,500枚**掲出展開 ラッピングバスの運行等
- Yahoo、インスタなどWeb広告の実施
- 県広報誌、県政PR番組など**官民一体でのPR**



スマホひとつで九州のおでかけをもっと楽しくもって便利に!
九州がまるっとつながる**九州MaaS**スタートです!
九州MaaSを使うとこんなに便利!こんなに楽しく!

- 01 旅行はもろもろの移動にも 九州内の旅行はもちろん出張でもよほど移動の移動を便利に変わります。
- 02 スマホひとつで簡単に移動 乗車券や乗車券を紙でなく、スマホでデジタルチケットを購入するだけOK!
- 03 複数の交通手段をまとめて予約・決済 バス、電車、タクシーなど複数の交通手段をひとつのアプリでスムーズに予約できる!
- 04 おトクな料金がおトクな特典 九州MaaSの交通機関で運賃が安い特典や、観光地で受けられる特典付きチケットなど自分に合ったプランを選べます。
- 05 最適なルート案内で時間を節約 乗車ルート案内で乗り換えの待ち時間を節約し、最適なルート案内する手厚い時間と時間の節約も。
- 06 環境にやさしい新しい移動 公共交通機関やシェアリングサービスの利用が広がることで、交通渋滞の緩和やCO2削減効果の期待も。

鹿児島を対象にしたお得なチケット
九州MaaSでは、以下の券種などを販売しています。
※一部、乗車券のみの販売となります。詳しくは九州MaaSのウェブサイトをご覧ください。

九州MaaS
九州中どこに行っても最適なルートやスマホひとつで簡単に予約できることで、九州のおでかけをもっと楽しくもって便利に。そして、九州のおでかけをもっと楽しくもって便利に。そして、九州のおでかけをもっと楽しくもって便利に。そして、九州のおでかけをもっと楽しくもって便利に。

お問い合わせ先 九州MaaS事務局
電話: 099-234-2455
ウェブサイト: https://kyushu-maaS.jp

■ 参画会員状況

(正会員・県)

県名	
1	福岡県
2	佐賀県
3	長崎県
4	大分県
5	熊本県
6	宮崎県
7	鹿児島県

(正会員・事業者等)

事業者名	
1	九州旅客鉄道株式会社
2	西日本鉄道株式会社
3	筑豊電気鉄道株式会社
4	甘木鉄道株式会社
5	平成筑豊鉄道株式会社
6	北九州高速鉄道株式会社
7	島原鉄道株式会社
8	松浦鉄道株式会社
9	長崎電気軌道株式会社
10	熊本電気鉄道株式会社
11	南阿蘇鉄道株式会社
12	熊本市交通局
13	西鉄バス北九州株式会社
14	西鉄バス二日市株式会社
15	西鉄バス宗像株式会社
16	西鉄バス筑豊株式会社
17	西鉄バス久留米株式会社
18	西鉄バス大牟田株式会社
19	西鉄バス佐賀株式会社
20	JR九州バス株式会社

事業者名	
21	堀川バス株式会社
22	九州急行バス株式会社
23	昭和自動車株式会社
24	佐賀市交通局
25	祐徳自動車株式会社
26	長崎自動車株式会社
27	長崎バス観光株式会社
28	さいかい交通株式会社
29	五島自動車株式会社
30	長崎県交通局
31	西肥自動車株式会社
32	させぼバス株式会社
33	大分交通株式会社
34	大交北部バス株式会社
35	玖珠観光バス株式会社
36	国東観光バス株式会社
37	大分バス株式会社
38	大野竹田バス株式会社
39	臼津交通株式会社
40	亀の井バス株式会社
41	日田バス株式会社
42	九州産交バス株式会社
43	産交バス株式会社
44	熊本バス株式会社
45	宮崎交通株式会社
46	南国交通株式会社
47	九州郵船株式会社
48	九商フェリー株式会社
49	五島産業汽船株式会社
50	やまさ海運株式会社

事業者名	
51	熊本フェリー株式会社
52	マルエーフエリー株式会社
53	マリックスライン株式会社
54	第一交通産業株式会社
55	株式会社TaKuRoo
56	ユナイテッドトヨタ熊本株式会社
57	宮崎トヨタ自動車株式会社
58	日本信号株式会社
59	全日本空輸株式会社
60	東京海上日動火災保険株式会社
61	株式会社JTB
62	株式会社MaaS Tech Japan
63	一般社団法人九州経済連合会
64	一般社団法人九州観光機構
65	unerry株式会社
66	福岡国際空港株式会社
67	株式会社Will Smart
68	鹿児島市交通局
69	鹿児島市船舶局
70	株式会社SEEDホールディングス
71	一般社団法人EMOBIA
72	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
73	肥薩おれんじ鉄道株式会社
74	北九州市交通局
75	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
76	有限会社神園交通
77	西鉄情報システム株式会社
78	三井住友カード株式会社
79	熊本都市バス株式会社
80	有限会社高崎観光バス

事業者名	
81	有限会社ジョイックス交通
82	株式会社ニモカ
83	幸姫酒造株式会社

(賛助会員)

事業者名	
1	ネクスト・モビリティ株式会社
2	トヨタファイナンシャルサービス株式会社
3	日本航空株式会社
4	オリエンタルエアブリッジ株式会社
5	株式会社ソラシドエア
6	鹿児島トヨタ自動車株式会社
7	Future株式会社
8	天草エアライン株式会社
9	大日本印刷株式会社
10	西日本高速道路株式会社
11	株式会社佐賀銀行
12	レシップ株式会社

(情報連携会員)

県名	
1	山口県
2	沖縄県

(内訳) 2024/12/3 時点

正会員	各県	7
	事業者等	83
賛助会員		12
情報連携会員		2
合計		104

- 直近の傾向・・・ ① 交通事業者は大手以外の小規模事業者も参画
 ② 交通事業者以外の参画増(ニモカ、大日本印刷、鹿児島トヨタ、佐賀銀行・・・など)

九州MaaS WGの開催状況

- 協議会のつながりを最大限に活かし、各WGにおいて好事例や知見の共有を交えて**実効性のある取り組み**を推進。
- WGは官民参画会員の**実務担当者で構成し、人材育成も目指す**。各WGは月1～2回開催。

ワーキンググループ名	リーダー	実施内容	具体的な取り組み例
アプリ利活用WG	九経連	ボードレス交通の実現に向けた企画乗車券(デジタルチケット)造成の推進	デジチケ作成のレクチャー、事例の共有、アプリ改修要望の集約
ボードレス推進WG	西鉄	乗り継ぎの利便性向上・インバウンド対応といった実運用面でのボードレス化の側面支援	具体事例や補助金情報の共有
旅客船連携サブWG	九経連	船舶を絡めた連携策の検討	具体事例の共有・活用検討
航空・空港連携サブWG	九経連	航空・空港を絡めた連携策の検討	具体事例の共有・活用検討
葉の交通WG	九経連 第一交通産業	ファースト/ラストワンマイルの利便性向上に向けた次世代モビリティ等の検討・導入推進の側面支援	具体事例や補助金情報や、次世代モビリティに関する知見の共有
プロモーションWG	JR九州	対外発表、ローンチ時のPR効果最大化・PR継続	情報解禁に向けた諸準備、ポータルサイトの立ち上げ
観光WG	九州観光機構 JR九州	観光・商業などの他分野連携の推進	観光地や商業施設といった目的地を絡めた連携商品の企画検討
データ利活用WG	福岡県	販売・利用データの収集・分析および利活用手法の確立 運行情報のデジタル化推進	データ連携や活用事例、実績の共有
高速バス運行情報 サブWG	西鉄	Qバスサーチ廃止後の代替サービス検討	リアルタイム運行データ整備に向けた情報共有

九州MaaS ~ナレッジの共有と水平展開 自動運転セミナーの開催~

- 国交省や九州域内で自動運転に取り組む地域コミッティを招いた自動運転セミナーを開催。
- 九州MaaS協議会だけではなく、**市町村にも参加を呼びかけ**。会場・オンラインで約120名が参加。

九州MaaSセミナー2024

2024.12.11(水)
13:30 - 17:45

九州における 自動運転社会の実装推進を目指して

会場：博多国際展示場&カンファレンスセンター 2階204号室 (福岡市博多区東光2-22-15)
Zoomにてオンライン同時配信

主催：九州経済連合会 後援：国土交通省 九州運輸局 協力：AMANE

同時開催(12:00~)
自動運転事業者
ブース出展

AMANE 井上 佳三 氏

佐賀県 岩永 孟 氏

佐伯市 成松 重雄 氏

北九州産業学術
推進機構 畑間 大一郎 氏

佐賀市 峰松 賢次 氏

西都市 山内 浩嗣 氏

宗像市 内田 忠治 氏

熊本市 松尾 啓史 氏

NTT西日本 林田 秀俊 氏

家邊 健吾 氏

国土交通省 物流・自動車局 自動運転戦略室長

AMANE



ナレッジの共有

九州MaaS ～交通事業者・県境を越えたサービスの展開～

- 九州MaaSのスタートで、モードを超えた連携、県を超えたサービスが実現。
- **my routeの機能**と、**鉄道・バス・船の交通事業者連携**による新たな商品も発売開始。

島原連絡乗車券 (バス・電車・船を乗り継ぎ、福岡⇄島原を結ぶ)

【交通事業者】 西日本鉄道・やまさ海運
 【チケット内容】 西鉄電車(福岡(天神)～大牟田)片道乗車券、西鉄バス(大牟田駅西口～三池港)片道乗車券、高速船三池島原ライン(三池港～島原港)片道乗船券がセット
 【販売価格】 大人3,350円、小児1,680円



ボーダレスなサービス

九州MaaSによる交通事業者・県境を越えたサービスの展開

- 各県で**事業者連携、県境を越えた商品**など、ラインナップを拡大。
- 「九州の統一アプリ**“my route”**を活用し」「交通事業者の**共創で更に便利な**」「**エリアを超えた広域周遊推進**につながる商品」を発売。既存81券種に加えて、**スタート時約100券種に拡大。現在は約140券種まで増加。**

エリア	チケット名称	関係事業者	県跨ぎ	事業者跨ぎ	マルチモーダル	発売日
全九州	ALL KYUSHU PASS	SUNQパス参加事業者・JR九州	○	○	○	11月1日(予定)
福岡	島原連絡乗車券	西日本鉄道・やまさ海運	○	○	○	8月1日
佐賀	佐賀空港2WAYチケット	佐賀市交通局				8月1日
佐賀	松浦鉄道二陶巡り旅	松浦鉄道				8月1日
佐賀	【SAGAサンライズパーク】パーク&バスライド1日乗車券	昭和自動車				8月1日
長崎	長崎市内バス・路面電車共通8時間フリーパス	長崎自動車・長崎県営バス・長崎電気軌道		○	○	7月1日
長崎	西肥バス・させぼバス・松浦鉄道1日乗車券	西肥バス・させぼバス・松浦鉄道	○	○	○	7月20日
熊本	南阿蘇鉄道24時間フリーきっぷ	南阿蘇鉄道				8月1日
熊本	八代市内⇄阿蘇くまもと空港片道乗車券	神園交通				8月1日
熊本	熊本電鉄・ひのくに号乗継乗車券	熊本電気鉄道・九州産交バス・西日本鉄道	○	○	○	8月1日
大分	My ベっぴ Freeミニフリー乗車券2日券	亀の井バス				7月25日
大分	My ベっぴ Freeワイドフリー乗車券1日券	亀の井バス				7月25日
大分	My ベっぴ Freeワイドフリー乗車券2日券	亀の井バス				7月25日
宮崎	熊本～高千穂 往復乗車券	宮崎交通・九州産交バス	○	○		8月1日
宮崎	熊本～高千穂 片道乗車券	宮崎交通・九州産交バス	○	○		8月1日
鹿児島	肥薩線～指宿枕崎線1日乗り放題きっぷ	JR九州				8月1日
鹿児島	NORTH SATSUMA GREAT PASS	南国交通・肥薩おれんじ鉄道	○	○	○	8月1日
鹿児島	南国交通1日乗車券	南国交通				8月1日

エリア	チケット名称	関係事業者	県跨ぎ	事業者 跨ぎ	マルチ モータル	発売日
福岡	到津の森公園きっぷ	筑豊電気鉄道・西鉄バス北九州・到津の森公園		○	○	8月20日
福岡	マリンワールド海の中道入館券+西鉄バス福岡市内1日フリー乗車券	西日本鉄道		○	○	9月1日
福岡	田主丸っと もぎもぎきっぷ	JR九州・西日本鉄道・西鉄バス久留米		○	○	9月1日
福岡・佐賀	天神・博多乗レール買エールチケット	西日本鉄道・JR九州・昭和自動車	○	○	○	9月1日
佐賀・福岡	特急かささぎ神特典デジタルチケット	JR九州・祐徳バス	○	○	○	9月23日
佐賀	SAGA2024路線バスとくとく24H乗車券	昭和自動車・佐賀市交通局・祐徳バス・西鉄バス・ JR九州バス・西肥バス・ジョイックス交通		○		10月1日
熊本・長崎	オーシャンアロー&産交バス片道/往復セット券	熊本フェリー・九州産交バス	○	○	○	10月1日
熊本・宮崎・ 鹿児島	南九州DE超回復! きっぷ	JR九州	○			10月1日
宮崎	宮崎交通×木下大サーカス自由席券 +宮崎駅(東口)～イオンモール宮崎往復乗車券	宮崎交通		○		10月1日
鹿児島	鹿児島市営バス・電車・フェリー1日共通乗車券 CUTE ~キュート~	鹿児島市交通局・鹿児島市船舶局		○	○	10月1日
全九州	SUNQパス	SUNQパス参画46事業者	○	○	○	10月1日
福岡	大牟田1日乗り放題チケット	西鉄バス久留米				10月5日



<各エリアでの展開・県交通政策との連携>

- ・本年度初めてサービスを開始した鹿児島県においても、新規参画事業者での活用が拡大
- ・鹿児島県の交通政策と連携した、閑散線区の利用活性化を目的に設定したJR九州「肥薩線～指宿枕崎線1日乗り放題きっぷ」は、デジタル化の効果もあり、予定発売枚数500枚を即日完売。県は新たな財源を確保し、追加発売。
- ・佐賀県では、国スポ応援者・競技者等の県内での観光周遊を促すため、県内全路線バス24時間乗り放題(1,500円)チケットを発売。

ALL KYUSHU PASS

- 九州各県への移動と消費を促すため、SUNQパスにJR九州線を周遊できる効力を組み合わせた商品を発売
- 九州全域のバスと一部船舶、鉄道を利用できる**インバウンド向け周遊チケット**。
- 有効期間は10日。**SUNQパス3日分、JR線3日分をセット**して、有効期間内の任意の日で利用可能。
- 発売プラットフォーム ⇒「my route」アプリ／リンクティビティ：販売サイト・提携海外旅行代理店
- 2024年11月1日発売開始

<SUNQパス効力 概要>

- ・九州+下関・長門の高速バス・一般路線バス・一部船舶が乗り放題となるフリーパス乗車券
- ・46のバス・船舶事業者が参画
(自治体さまが運営するバス・船舶もあり)

<JR九州路線効力 概要>

- ・九州一円のJR九州在来線(山陽本線(門司-下関間)を除く)全線および九州新幹線・西九州新幹線の自由席が乗り放題



ボーダレスなサービス・広域周遊推進

■ ALL KYUSHU PASS + 観光周遊

- JTBが九州MaaSの一環として企画・発売
- 「ALL KYUSHU PASS」発売に合わせ、九州内主要観光施設29施設に入場できる「Enjoy! Kyushu Pass」を発売。広域周遊の促進を目指す。
- 「my route」とも連携 スマホに表示したQRコードで入場が可能となるシステムを導入
- 交通サービス連携などを進める。



福岡県全域

交通券 交通予約 施設・観光 クーポン

全て

最近見た施設・観光

skyDuck

YOKOHAMA ANIPANMAN CHILDREN'S MUSEUM

【対象施設】
 小倉城、松月乗船場（柳川川下り）、福岡タワー、九州鉄道記念館、北原白秋生家・記念館、博多町家ふるさと館、旧大阪商船、関門海峡ミュージアム、門司港レトロ展望室、旧門司三井倶楽部、大浦天主堂、グラバー園、軍艦島上陸周遊クルーズ、軍艦島デジタルミュージアム、島原城、長崎ロープウェイ、長崎歴史文化博物館、べっぴん地獄めぐり 共通観覧券、城島高原パーク、浮羽別館新紫陽、大分マリンパレス水族館「うみたまご」、球磨川くだり、阿蘇カドリー・ドミニオン、阿蘇猿まわし劇場、宮崎市フェニックス自然動物園、フローランテ宮崎、奄美の里、仙巖園・尚古集成館、陽光美術館・慧洲園

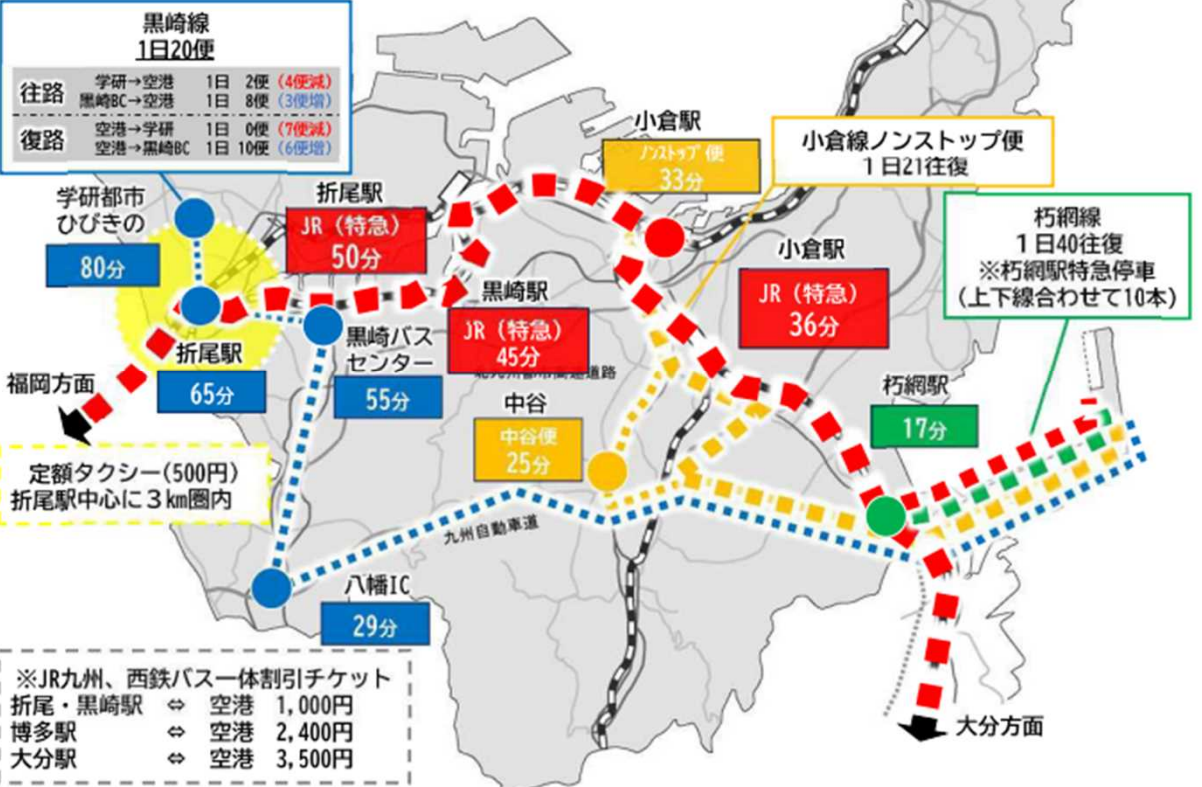
体験プラン・入場はこちら See more Tickets

ボーダレスなサービス・広域周遊推進・移動目的との連携

■フィジカル連携＋デジタル活用＋自動運転 ～北九州空港エリアでの動き～

- 北九州市・西鉄・JR九州が連携して空港アクセスの改善を目指す取り組みを開始
- 自動運転実証なども組み合わせ、将来に向けた動きが進む

【空港アクセスルート図（変更）】※時間は各地点と空港間の所要時間



ボーダレスなサービス・デジタル活用

おでかけアプリ「my route」にて、北九州空港のご利用に便利なデジタルきっぷ「北九州空港特急きっぷ」を発売予定です。詳しくは、ホームページ(<https://www.irkyushu-kioppu.jp/fare/ticket/419>)をご確認ください。

- 発売期間 令和7年3月1日～
- 利用期間 令和7年4月1日～
- 設定区間 北九州空港～折尾/黒崎/博多/別府・大分(片道での発売です。)
- 発売額

到着駅	折尾	黒崎	博多	別府・大分
発売額	1,000円	1,000円	2,400円	3,500円
- きっぷの効力 発着駅～朽網駅の乗車券と自由席特急券に加えて、朽網駅～北九州空港のエアポートバス運賃がセットのデジタルきっぷです。
- 限定キャンペーン 一部区間についてはお求めやすいキャンペーン価格での発売を予定。

到着駅	折尾	黒崎	別府・大分
発売額	500円 (※1)	500円 (※1)	2,700円 (※2)

 ※1 令和7年6月30日までの発売です。
 ※2 先着1,000名様限定での発売です。



R6 自動運転バス「北九州空港～朽網駅」における実証運行(概要)

【実証期間】令和6年12月12日(木)～12月18日(水) ※平日のみ運行

【車 両】路線バスタイプ1台(いすゞ製 ERGA)

【走行区間】北九州空港～朽網駅 約10.5km(所要30分)

【運転レベル】レベル2(運転士が常時運転席にて安全確認を行い、適宜介入操作)

【主な関係者】北九州市、西鉄グループ、A-Drive㈱、いすゞ自動車㈱、アイサンテクノロジー㈱、㈱ティアフォー、㈱マップフォー、九州工業大学、(公財)北九州産業学術推進機構 (FAIS) 他

【運行ルート】(1日5往復、途中5カ所のバス停に停車)



■国の交通政策「地域交通の『リ・デザイン』」と「九州MaaS」

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年9月29日
総合政策局・鉄道局・自動車局

**改正地域交通法が10月1日より全面施行されます
～地域公共交通の「リ・デザイン」(再構築)に向けて～**




本年4月28日に公布された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が、10月1日より全面施行されます。今般の法改正により創設・拡充された枠組みを含め、あらゆる政策ツールを最大限活用し、利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通への「リ・デザイン」(再構築)を加速化してまいります。

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」(令和5年法律第18号)の全面施行とともに、以下の項目が創設・拡充されます。




2023年10月1日
地域公共交通の「リ・デザイン」に向けた
改正地域交通法が施行

1. 地域公共交通の「リ・デザイン」とは

- ローカル鉄道・路線バスなどの**地域公共交通**は、地域の社会経済活動に不可欠な基盤。人口減少や少子化、マイカー利用の普及やライフスタイルの変化等による長期的な需要減により、**引き続き、多くの事業者が厳しい状況**。加えて、新型コロナの影響により、**一気に10年以上時間が進んだとの見方もあるほど深刻な状況**。
- こうした需要の減少は、交通事業者の経営努力のみでは避けられないものであるため、自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する「**交通DX**」、車両電動化や再エネ地産地消など「**交通GX**」、①**官民共創**、②**交通事業者間共創**、③**他分野共創**の「**3つの共創**」、すなわち、地域の関係者の連携と協働を通じて、**利便性・持続可能性・生産性を高め、地域公共交通の「リ・デザイン」(再構築)**を進める。
- これにより、『**デジタル田園都市国家構想**』及びこれを具体化する「**地域生活圏の構築**」の実現と、社会課題の解決を経済成長のエンジンとする『**新しい資本主義**』の実現を目指す。

交通DX	交通GX
<p>自動運転 地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービスについて、実証事業を支援</p>  <p>▲茨城県境町の自動運転バスの運行</p>	<p>MaaS 交通事業者等の連携高度化を後押しするデータ連携基盤の具体化・構築・普及を推進</p> 
	<p>交通のコスト削減・地域のCN化 車両電動化と効率的な運行管理・エネルギーマネジメント等の導入を一体的に推進</p> 

3つの共創

官民の共創	交通事業者間の共創	他分野を含めた共創
<p>一定のエリアにおいて、地域でサービス水準を決定し、事業者が複数路線を一括して長期間運行</p> <p>交通手段が重複 → ネットワークの統合 → エリア一括協定運行</p> 	<p>複数の交通事業者が共同経営を行うことにより、垣根を越えたサービスを展開</p> <p>郊外: A社, B社, C社, D社 → 乗換拠点 → 市街地: A~D社</p> 	<p>地域交通と、様々な他分野との垣根を越えた事業連携を実現</p> <p>医療×交通, 介護×交通, エネルギー×交通, 教育×交通</p> 

九州MaaSは、地域交通の「リ・デザイン」を、九州広域・官民一体で取り組む。

■「九州MaaS」の今後

目指すのは厳しい環境下にある**地域交通の「リ・デザイン」と「観光の利便性向上」**

MaaSのゴールはアプリの導入ではない。

フィジカル+デジタルで地域交通を持続可能な形に“リ・デザイン”し、観光需要にも応えられる環境の整備を！

MaaSのカギは「共創」。交通事業者のみの取り組みにあらず。

交通事業者・観光業界・商業・行政などがつながる「裾野が広い」取り組み

だからこそ**「官民の共創」+「交通事業者相互間の共創」+「他分野を含めた共創」**が必要

「持続可能性」を高めるためにも九州が一体となった**「九州MaaS」の成功を！**

エリアごとに**バラバラな取り組み**では利用者にも不便だけでなく、オペレーションも非効率

九州観光の地域間競争力の向上のためにも、九州が一体となった取り組みが必要

2024年度は設立フェーズ。

今後は、九州の地域交通の活性化・持続可能性の向上を目指す「連携のプラットフォーム」として

- ・観光・商業・イベントなど、移動目的となる**交通以外の分野(エンドコンテンツ)との連携の拡大・促進**
- ・コミュニティバス・乗合タクシー・AIオンデマンド交通・公共ライドシェアなど、「**交通空白**」解消を**目指す新たなモビリティとの連携**

など、新たな領域のチャレンジも進めていきたいと考えています。